



26-28 February 2015 • Pragati Maidan, New Delhi

Technology that drives success

第21回インド国際産業&技術フェア(IETF 2015)

21st International Engineering & Technology Fair

ジャパン・パビリオン出品のご案内

申込受付開始: 2014年8月18日(月) 正午

申込締切: 2014年11月12日(水) ※先着順

出品募集URL: <http://www.jetro.go.jp/events/ietf2015>

会期: 2015年2月26日(木)~2月28日(土)

会場: インド・ニューデリー プラガティ・マイダンPragati Maidan



はじめに

成長を続ける巨大市場インドでは、省エネルギー・新エネルギー・環境保護への取組みが急務となっており、日本政府としても2007年の日印首脳会談以降、これらの分野における日印協力を促進しております。

2014年5月にはモディ首相率いる新政権が発足し、安倍首相とモディ首相の会談では、日印関係は「最も可能性を秘めた二国間関係」とされ、緊密な戦略的パートナーシップの一層の進展が期待されています。

このような中、ジェットロではインド最大の機械技術関連の総合見本市である「インド国際産業&技術フェア(IETF)」に、パートナーカントリーとしてジャパン・パビリオンを組織し参加いたします。環境・エネルギー・自動車・鉄道・インフラ・その他一般機械の分野における日本の技術を総合的に紹介し、日本のプレゼンスを示すとともに、対インドビジネスの拡大を目指す日本企業・日系企業の皆さまの出品・商談をサポートいたします。

同国および周辺地域におけるPR・新規取引先発掘の機会として是非ともご活用いただきたく、ご案内申し上げます。



前回開催実績(※主催者発表値)

展示規模: 約25,000㎡

来場者: 約23,000人

出展者: 350社・団体(20カ国・地域)

見本市概要

About IETF 2015

名称: 第21回インド国際産業&技術フェア (IETF 2015)
21st International Engineering & Technology Fair

会期: 2015年2月26日(木)~2月28日(土)

開催地: インド・ニューデリー

主催: プラガティ・マイダン国際展示場 (Pragati Maidan)

主催: インド工業連盟 (Confederation of Indian Industry :CII)

URL: <http://www.ietfindia.in/>

ジャパン・パビリオン概要

About Japan Pavilion

主催: 日本貿易振興機構 (JETRO)

参加規模: 3,000㎡ (予定)

募集規模: 300小間(1小間9㎡)

対象分野: 再生エネルギー、省エネルギー、環境、自動車・自動車部品、一般機械、鉄道、水・廃棄物処理等の都市インフラ、食品加工機械・コールドチェーン分野

POINT 1. インド市場への効果的なアプローチが可能

IETFはインド最大の経済団体であるインド工業連盟(CII)が主催するインド最大の機械技術関連の総合見本市です。インド産業界での認知度が高く、インド全土より有望なバイヤー、行政関係者が多数訪れます。参加するだけで、インド市場に対するPRが効果的に行なえます。

POINT 2. トップセールスの好機

今回の「IETF 2015」では、日本をパートナーカントリーとして開催されることが決定しています。首相・大臣をはじめとするインド政府要人の来訪も予定されており、トップセールスの好機となっています。

出品料金(不課税) (いずれも1小間あたりの価格)

	中小企業	一般料金
標準ブース	¥ 200,000-	¥ 400,000-
スペースのみ (4小間～)	¥ 150,000- (※1小間あたり)	¥ 300,000- (※1小間あたり)

ジャパン・パビリオン出品のメリット

集客力UP

日本企業が集結してパビリオンを組織することにより、高い集客効果と商談機会の増加が期待されます。

安心サポート

出品の申込やブースの装飾など、見本市への参加に伴う煩雑な手続きをジェトロがサポートいたします。初めて海外の見本市に出品される方でも安心してご参加いただけます。

費用軽減

中小企業の皆さまに対しては、ジェトロが出品料の一部を補助いたします。単独で出品される場合に比べて、出品費用を抑えることができます。

来場者誘致

ダイレクトメールや外部メディアへの広報を通じ、ジェトロは想定される来場者に対してピンポイントにアプローチします。加えて、バナーの設置やカタログの配布など、見本市会場でもプロモーション活動を積極的に行います。

- 出品要件：**
- (1)対象分野に該当する日本の製品・技術を持つ日本企業・日系企業であること。
 - (2)海外販路拡大のため、海外企業との商取引を目的とした商談が主な参加理由であること。
(取りまとめ団体に限っては、PR目的での参加を認めます。)
 - (3)会期中の全日程を通じて出品が可能であること(会期途中で出品撤収は不可)。
 - (4)英語や現地語の商品パンフレットの用意など、商談に必要な相応の準備が完了していること。また会期後に商談に対応できる担当者がいること。
 - (5)公的機関以外の申込者の場合、見本市での商談後も自らが主体的に出品物の輸出に関与できること。
 - (6)ジェトロが出品者として適当であると承認すること。

※取りまとめ団体傘下で出品される企業・団体についても、上記の出品要件のもと参加いただくことになります。

中小企業の定義

中小企業とは、「中小企業基本法」の定義に基づきます。以下表のうち、**資本金基準・従業員数基準のいずれか**を充たす法人を中小企業といたします。中小企業料金にてお申込みいただけるのは、

①同法に定める日本国内の中小企業*

②同法に定める 中小企業*を取りまとめる業界団体等(当該業界団体等の構成員の2/3以上が中小企業であること)

に限りです。ただし、上記の条件に該当する企業・業界団体等であっても他の国庫補助金による支援を受けている場合は、一般料金にてお申込みいただきます。

主たる事業として営んでいる業種	資本金基準 資本金の額または出資の総額	従業員基準 常時雇用する従業員の数**
製造業、建設業、輸送業、その他の業種(下記以外)	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
サービス業(情報サービス業を含む)	5千万円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下

* 法人格のない個人事業者も含みます。

** 「常時雇用する従業員の数」には、事業主、役員、臨時従業員は含みません。

出品料に含まれるサービス

(1小間あたり。一部のサービスを利用しない場合でも、料金は同一です。)



全申込み形態共通

- 展示スペース (1小間: $3\text{m} \times 3\text{m} = 9\text{m}^2$)
- ジャパン・パビリオン公式カタログへの出品企業情報掲載
- ※ 「スペースのみ」でお申込みの場合、こちらのサービスのみとなります。



「標準ブース」基本装飾

- ジェトロの統一デザインによる小間の基本装飾 (社名表示板1・カーペット・壁)
- 一定量の電気代およびその工事費
- ジェトロが指定する基本備品 (予定):
受付台1・商談用テーブル1・椅子2・鍵付き
展示台1・スポットライト3・单相コンセント1
・ゴミ箱1

出品料に含まれないサービス

- 上記基本装飾以外のブース装飾、追加レンタル備品に掛かる経費
- 出品物の梱包費用および出品物輸送に掛かる経費 (保険料含む)
- 出品物に掛かる関税および消費税等
- 出品者の渡航費および宿泊費
- 通訳・アテンダント手配・雇用に掛かる経費
- その他前項に定める以外の経費



展示会場(Pragati Maidan)



ジェトロ・メンバーズ特別料金

ジェトロ・メンバーズには、会員特別料金として**出品料から10%を割引**いたします。

まだジェトロ・メンバーズに加入されていない皆さまは、この機会にぜひ、入会をご検討ください。

⇒お申込み・詳細はこちら

<http://www.jetro.go.jp/members/memberservice/>

料金: 出品料の10%を割引。ただし、割引額は会員1口につき年会費¥75,600を年間割引の上限とします。

対象: 日本国内からジェトロ・メンバーズとして登録された法人・団体名でお申込みいただいた場合に限りです。



東日本大震災被災企業の皆様

ジェトロでは、福島県に本社を有する中小企業・団体または自治体が発行する東日本大震災の被災証明書・罹災証明書を有する中小企業・団体を補助対象とし、以下の内容を支援します。詳細については「海外見本市出展経費補助事業利用申請書」をご確認下さい。

ジェトロの経費負担:

「標準ブース」1小間で提供される全サービス (「スペースのみ」の申込みは対象外)

出品者の経費負担:

渡航費、宿泊費、追加装飾費、上記に含まれないサービス等

お申込み方法

ウェブサイト上の「イベント（事業）参加申込みページ」に入力して下さい。原則5営業日を目途に「出品申込書・承諾書」のPDFファイルのデータをジェットロよりEメールにてお送りしますので、下記要領にて書類をジェットロまでご提出ください。

【イベント（事業）参加申込みページ】

<http://www.jetro.go.jp/events/ietf2015>

【郵送いただく書類】

- ①出品申込書・承諾書（社印・代表者印を押印したもの）＊データはジェットロより送付
- ②会社案内（貴社パンフレット可）

2部

1部

＜東日本大震災被災企業のみ＞

- ◆自治体が発行する東日本大震災による罹災証明書または被災証明書（福島県を除く） 1部（コピー可）
- ◆海外見本市出展経費補助事業 利用申請書（代表者印を押印したもの） 1社につき1部
- ◆その他ジェットロが求める資料

【Eメールでお送りいただく書類】

＜取りまとめ団体のみ＞

- ◆出品申込内訳表 1部
- *取りまとめ団体からの申込の際には、申込時に実際に出展する傘下企業の情報もあわせてお送りください。
- *傘下企業未定でのお申込は受付ません。なお、原則として申込後の傘下企業の変更は認めません。
- *取りまとめ団体の**お申込み後 1週間以内**に傘下企業の皆様ご自身にて「イベント（事業）参加申込みページ」へ入力をお願いします。

STEP1 入力

- 本「出品のご案内」および「海外見本市出品要綱」をよくお読みの上、「イベント（事業）参加申込みページ」(<http://www.jetro.go.jp/events/ietf2015>)に必要事項をご入力ください。仮申込があったものとみなします。
- 申込みは先着順といたします。

STEP2 押印

- STEP1の後、原則5営業日を目途にジェットロより「出品申込書・承諾書」のPDFファイルをEメールにてお送りしますので、2部印刷し、社印・代表者印を捺印してください。
- 「イベント（事業）参加申込みページ」ご入力のタイミングで募集小間を上回る場合、小間が確保できた時点で出品申込書・承諾書をお送りします。

STEP3 郵送

- 「出品申込書・承諾書」およびその他の提出書類をジェットロ担当者宛に郵送してください。ジェットロからの「出品申込書・承諾書」PDFファイル送付後、1週間以内が締切（書類必着）となります。
- PDFファイル送付後、1週間を過ぎても書類がジェットロへ届かない場合は、仮申込がキャンセルされたものとみなします。
- 「出品申込書・承諾書」の記載内容に変更がある場合は、ジェットロへご連絡ください。訂正する場合は、代表者の訂正印を押印のうえ、修正ください（修正液の使用不可）。

STEP4 返送

- 「出品申込書・承諾書」受領後、ジェットロによる所定の審査を行ないます（場合によっては財務関連書類の提出を求めることがあります）。
- 「出品申込書・承諾書」を正式に受理する場合は「出品申込書・承諾書」の承諾欄にジェットロが捺印した「出品申込書・承諾書」1部を請求書とともに返送いたします。

STEP5 振込

- 請求書に記載の出品料を必ず支払期限までにお振込みください。
- 期日までに出品料をお支払いいただいた時点でジェットロが出品を承諾することとします。
- 支払期限までに出品料のお支払いがない場合は、出品の申込みが取り消されたものとみなします。



申込受付開始：
2014年8月18日（月）
イベント（事業）参加申込み
ページ入力締切日：
2014年11月12日（水）

*お申込が予定小間数に達した場合は、締切日前でも募集を終了することがあります。



入金期限日：
2014年11月21日（金）

注意事項

以下には重要な情報が記載されております。**お申込みの前に必ずご確認ください。**

- お申込みが予定小間数に達した場合は、締切日前でもお申込みをお断りする場合があります。
- 出品申込書に記載された内容に変更がある場合、書面にてジェットロにご連絡願います。
また、申込締切日を過ぎてから内容を変更される場合、ジェットロはその内容によっては応じられない場合がございますので、予めご了承ください。
- 出品にかかる規則は、本「出品のご案内」、ならびに「海外見本市出品要綱」によるものとします。
本ご案内と海外見本市出品要綱との間に矛盾がある場合には、本ご案内を優先します。
- ジェットロが出品者として適当であると承認することを要件とします。
- 1社・団体あたりの出品の最小申込単位は1小間とします（スペースのみの場合は4小間）。
1小間を複数社・団体で共有することはできません。
- ブース位置は、申込順位、小間数、出品物、業種等を考慮し、確保できたスペース内で展示構成を配慮しつつ、
ジェットロが決定します。ブース位置決定に際して、ジェットロは出品者より一切の希望・要求を受け付けません。
- 「スペースのみ」の出品者以外の小間の装飾および施工はジェットロが、出品物の展示・陳列は出品者が行います。
出品物の展示方法については、ジェットロの指示に基づいて修正いただく場合もございます。
- ジェットロが成果把握等のために実施するアンケートには必ずご回答願います。
- 外国為替および外国貿易法等、国内法令に定めのある出品物の出品については、出品者の責任において事前に許可等を取得願います。
(経済産業省安全保障貿易管理： <http://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html>)
- 本見本市に他の国庫補助金を用いて出品する場合、出品料は一般料金となります。
- 出品料の振込みに要する一切の手数料は出品申込者のご負担となります。なお、支払額が請求額を下回り所定の期日までに差額の支払がない場合は、出品申込者による出品申込の取消とみなします。
- 出品料未納による出品はできません。必ず支払い期日までにお支払いください。**
- 自社小間の転貸、売買、交換、譲渡は出来ません。
- 搬入～会期～搬出の全日程を通じての会場アテンドをお願いします。見本市最終日の終了時刻以前の撤収は認められません。
- 会期中は常時1名以上の担当者を自社小間に配置してください。
- 展示装飾・輸送等、今後の準備の詳細については別途ご案内いたします。

<東日本大震災被災地出品企業の皆様>

※出品にかかる規則は、本「出品のご案内」、ならびに「海外見本市出品要綱」によるものとしますが、参加についての諸条件は、別途定める「海外展示会出展経費補助事業 利用申請書」に準ずることとします。

※本「出品のご案内」・「海外見本市出品要綱」・「海外展示会出展経費補助事業利用申請書」の内容が異なる場合には、「海外展示会出展経費補助事業利用申請書」を優先し、捺印のある書面にてジェットロにお知らせください。キャンセル料金の発生時期と金額については、下表をご参照ください。

キャンセル規定

出品取消し受付日	キャンセル料
2014年11月25日(火)～2015年1月13日(火)	出品料の50%
2015年1月14日(水)～2015年2月25日(水)の間、会期中または連絡なしの不参加	出品料の100%

- キャンセル料は、入金していただいた出品料から差し引くこととし、残額を出品者に返金することとします。
- 国内で発生した天災等の事由により出品が不可能となった場合、ジェットロにご相談ください。
公的な証明書等の提出をもって、キャンセル料の免除を検討します。
- キャンセル料についてはメンバーズ割引を適用できません。



出品申込先・お問い合わせ先

日本貿易振興機構（ジェットロ） 展示事業部 海外見本市課 担当：酒井、福山、石橋
〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル6階
TEL：03-3582-5183 FAX：03-3505-0450 E-mail：fab2@jetro.go.jp

第21回インド国際産業&技術フェア(IETF 2015)

21st International Engineering & Technology Fair

ご案内

会期: 2015年2月26日(木)～2月28日(土)

会場: インド・ニューデリー プラガティ・マイダンPragati Maidan



26-28 February 2015 • Pragati Maidan, New Delhi

Technology that drives success





見本市概要 About IETF 2015

名称： 第21回インド国際産業&技術フェア
(IETF 2015)
21st International Engineering &
Technology Fair

会期： 2015年2月26日(木)～2月28日(土)

開催地： インド・ニューデリー

主催： プラガティ・マイダン国際展示場

主催： インド工業連盟(CII)

URL： <http://www.ietfindia.in/>

前回開催実績(※主催者発表値)

展示規模： 約25,000㎡

来場者： 約23,000人

出展者： 350社・団体(20カ国・地域)



ジャパン・パビリオン概要 About Japan Pavilion

主催： 日本貿易振興機構(ジェトロ)

募集規模： 300小間(1小間9㎡)

全体：330小間(予定)

(1)企業・団体コーナー300小間

(2)事務局・広報コーナー30小間

対象分野： 工作機械、各種機械・部品、輸送機械
・機器、プラント及び技術、電気電子
部品、計測機器、環境関連機器及び
工業技術全般



IETF2015 ポイント

POINT 1. インド市場への効果的なアプローチが可能

IETFはインド最大の経済団体であるインド工業連盟（CII）が主催するインド最大の機械技術関連の総合見本市です。インド産業界での認知度が高く、インド全土より有望なバイヤー、行政関係者が多数訪れます。参加するだけで、インド市場に対するPRが効果的に行なえます。

POINT 2. トップセールスの好機

今回の「IETF 2015」では、日本をパートナーカントリーとして開催されることが決定しています。首相・大臣をはじめとするインド政府要人の来訪も予定されており、トップセールスの好機となっています。

POINT 3. 日印首脳声明にてオーソライズ

本年9月1日、安倍総理とモディ首相による日印首脳声明にて「双方は、日本がニューデリーにて開催予定の第21回インド国際産業・技術フェア(IETF 2015)のパートナーカントリーとなったことを歓迎し、これが両国間の貿易、投資の拡大につながることに對する期待を表明した。」と記載されました。

POINT 4. 茂木経済産業大臣がモディ首相を招待

本年9月1日、茂木大臣からモディ首相に対し、次のとおりIETF2015へ来場を促されました。「来年2月にデリーで開催される I E T F (International Engineering & Technology Fair)において、日本はパートナーカントリーとして参加し、スマートシティー関連技術を紹介するので、是非ご覧いただきたい。」



ジェトロ撮影

ビジネスチャンス

9月1日 日印首脳声明に盛り込まれた内容

- 安倍総理は、次世代インフラ、連結性、輸送システム、スマートシティ、ガンジス川及び他の河川の再生、製造業、クリーンエネルギー、能力開発、水の安全保障、食品加工及び農産業、農業コールドチェーン及び農村開発といった分野を含む、相互の利益のための適切な政府及び民間のプロジェクトの資金を手当てするため、今後5年間で、インドに対し、ODAを含む、3.5兆円規模の日本からの官民投融資を実現するとの意図を表明した。

＜参考＞ 2014年度のインド予算案に、インド全土で、100のスマートシティを整備するとある。

- 双方は、アーメダバード・メトロ事業について協力することを決定した。双方は、メトロ事業やその他の都市インフラ事業を含む、インドにおける適当なインフラ事業において、日本企業及びインド企業の参画を高める方策を追求することを決定した。

＜参考＞ 2014年度のインド予算案に、デリー～チェンナイ～ムンバイ～コルカタを高速鉄道で結ぶ、ムンバイ～アーメダバード間の高速旅客鉄道などの計画が盛り込まれている。



日本パビリオンの構成イメージ

一般機械・部品ゾーン

食品機械・コールド
チェーンゾーン

鉄道ゾーン

自治体ゾーン

政府ゾーン

自動車・部品ゾーン

自動車用電装品
コーナー

環境技術ゾーン
再エネ・省エネ
都市インフラ

※日本パビリオン内は分野ごとにゾーン分けをし、来場者に分かりやすいパビリオン構成とします。
※グループ企業でご出展の場合は、独立したグループゾーンを設けることも可能です。

展示出展以外の支援

- セミナー開催支援

10小間以上まとめて出展いただける企業、団体につきましては、会場にてセミナー開催の支援をいたします。

ジェトロの支援⇒会場予約、広報、集客、当日の運営サポート

- 商談支援

ジェトロの現地事務所が持つ、中央政府、州政府、州開発公社、商工会議所、業界団体、現地企業等のネットワークを活用し、展示会場にて有益な商談が実施できるようサポートします。

- グループ企業取りまとめて出展

グループ企業取りまとめて、10小間以上でご出展いただける企業、団体につきましては、独立したグループゾーンを構成することも可能です。

JEITA様へのご提案

- 会員企業を取りまとめたのご出展の場合

※出展ブースの基本装飾を工夫し、JEITA会員企業にまとまって見えるようにします。

- 多数の出展が見込まれるようでしたら、電気・電子機器のゾーンを設けます。

- その他特別な支援

JEITA様ご負担で、MOU締結式などの開催希望がある場合は、お気軽にご相談ください。

出品申込先・問合せ先

日本貿易振興機構（ジェトロ）

展示事業部 海外見本市課 担当：酒井、橋本、石橋

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル6階

TEL：03-3582-5183

FAX：03-3505-0450

E-mail：fab2@jetro.go.jp

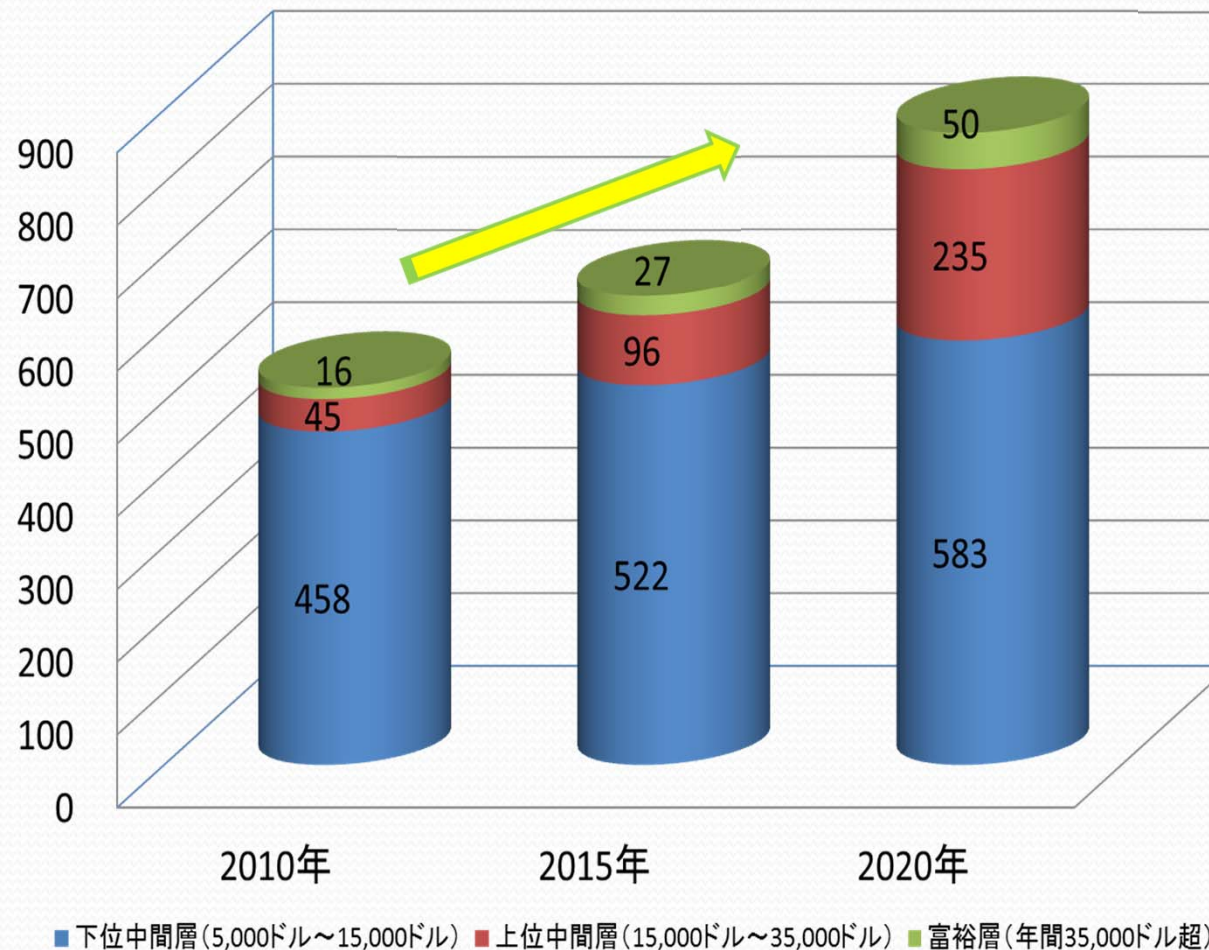
「イベント（事業）参加申込みページ」

<https://www.jetro.go.jp/events/ietf2015>

参考情報

拡大するインドの中間層・富裕層

単位: 100万人

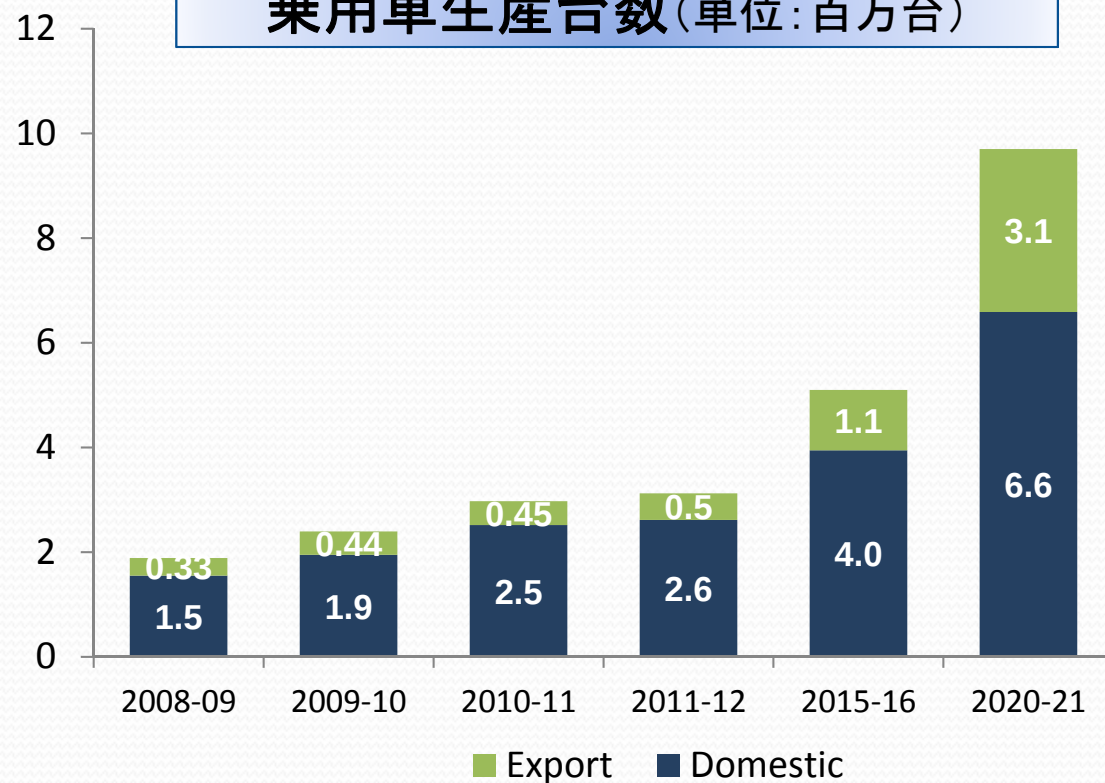


2015年から人口
ボーナス期が始
まり、その後30年
間続く。

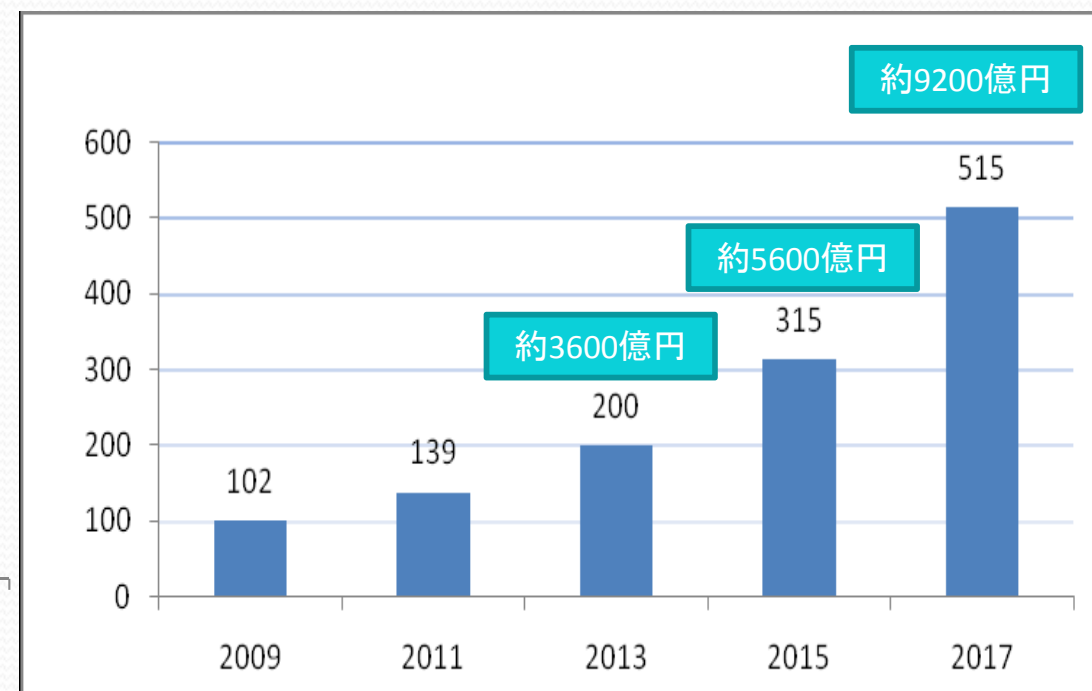
(注) 所得水準は年間の世帯可処分所得ベース

(出所) ユーロモニターインターナショナル社(2014年2月閲覧)、国連人口統計よりジェトロ作成

乗用車生産台数(単位:百万台)



コールドチェーン市場(単位:10億ルピー)

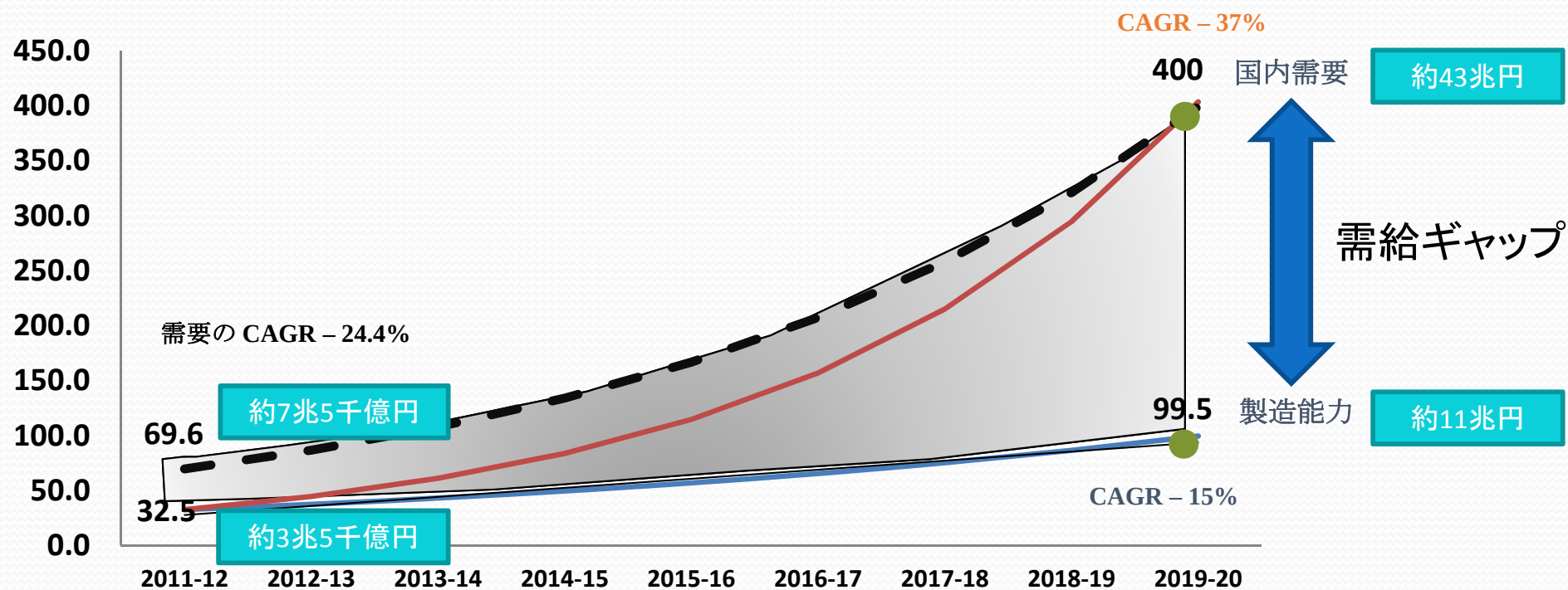


出典: ICRA(※)、SIAM(Society of Indian Automobile Manufacturers)
2012年時点での推計 ※ICRAは、民間のレーティング会社

(出所)www.assochem.org および業界予想。ジェトロ 2013 年度
主要国・地域におけるコールドチェーン調査(インド)より
1ルピー=1.78円(2014年9月24日)

電子機器需要と製造(単位:10億ドル)

CAGR = 年平均成長率



出所: インドIT通信省 1ドル=108円で換算